



総研大ニューズレター

第116号 2018.3発行

目次

【今月のトピックス】

総研大 アジア冬の学校	核融合科学専攻・准教授・鈴木康浩
都城工業高等専門学校にて 大学院説明会と出張講義を実施	核融合科学専攻・助教・大石鉄太郎
ベトナム宇宙科学技術国際会議への参加報告	宇宙科学専攻・副専攻長・松原英雄
2017年度 学融合推進センター公募型研究事業・ 公開研究報告会	生命共生体進化学専攻・准教授・田辺秀之

【プレスリリース、受賞情報】

プレスリリース 2件、受賞 2件

【イベント情報】

3月～4月中旬 総研大・基盤機関イベント情報

【広報社会連携室から】

総研大創立30周年記念寄附金事業について 他

【今月のトピックス】



● 総研大 アジア冬の学校 (2018年1月29日～2月2日)

物理科学研究科核融合科学専攻では、毎年アジア冬の学校を開催し、アジア各国の修士・博士課程の学生を対象に核融合科学の教育と本専攻の広報活動を行っています。2015年度までは専攻の基盤機関である核融合科学研究所を会場として開催してきましたが、近年、経済発展が目覚ましい東南アジアの優秀な学生をより多く招へいすることを目的として、2016年度から東南アジアで開催することとしました。昨年度は12月に、タイ・チェンマイにて3日間開催しました。本年度は、タイ国家原子力研究所 (TINT: Thailand Institute of Nuclear Technology)が主催している ASEAN School on Plasma and Nuclear Fusion(ASPNUF)と共催の形で、昨年度と同じくタイ・チェンマイにて2018年1月29日から2月2日までの日程で開催しました。これは、昨年度に核融合科学研究所とタイ・チェンマイ大学及びタイ国家原子力技術研究所との間で締結した研究と教育に関する学術協定を活用することにより可能となったものです。



参加学生との議論

本年度は、タイ、インドネシア、ネパール、パキスタン、フィリピン、韓国、日本の計7か国から84名が参加しました。会場はチェンマイ大学理学部のセミナー室を使用し、昼食も会場内で全員一緒にとることができ、講義に集中できる素晴らしい施設でした。今回の冬の学校の実施にあたり、当専攻からは、竹入康彦専攻長、榊原悟副専攻長、大館暁准教授、田中照也准教授と筆者の5名が講師として参加し、60分の基調講演及び90分の講義を4コマ実施しました。また、総研大生が2名、基盤機関の大学院連携係から事務担当者1名も参加しました。基調講演では、竹入専攻長が日本の核融合研究開発に関する現状について解説しました。プラズマ・核融合の基礎から、

シミュレーションやプラズマ計測に係る実践的な講義、また、核融合工学に関する講義などが総研大の講師陣から行われました。

参加した学生は大変熱心で、活発な質疑応答が行われた他、講義時間外にも多くの学生が質問を寄せるなど強い意欲を感じました。総研大への進学についても多数の質問を受けました。今後、多くの学生が核融合科学専攻に志願してくれることを願っています。

【核融合科学専攻・准教授・鈴木康浩】

● 都城工業高等専門学校にて大学院説明会と出張講義を実施(2018年2月1日・2日)

物理科学研究科核融合科学専攻では、核融合科学の面白さを若者に伝え、将来当該分野研究をリードできる若手逸材の発掘を目的として、全国の高専を往訪しています。その一環として、2018年2月1日(木)と2日(金)の2日間にわたり、宮崎県の都城工業高等専門学校にて、大学院説明会(本科3年生1名、本科4年生3名が参加)および出張講義(本科2年生35名が受講)を実施しました。大学院説明会・出張講義とも、同専攻核融合システム講座の助教・大石鉄太郎(筆者)が担当しました。大学院説明会では、核融合エネルギー研究の概要や、専攻の基盤機関である自然科学研究機構核融合科学研究所の大型ヘリカル装置を用いた超高温プラズマ閉じ込め研究の進展を説明するとともに、核融合科学専攻の紹介を行いました。また、核融合科学研究所において毎年夏に1週間の合宿形式で開催している総研大夏の体験入学への参加を呼びかけました。



都城工業高等専門学校での出張講義

出張講義では上記の内容に加えて、そもそも「プラズマとは何か?」といった基礎的な話や、身近なプラズマの応用として蛍光灯やプラズマテレビの原理なども紹介しました。大学院説明会・出張講義とも質疑応答が盛り上がり、「核融合エネルギーを利用した発電所が実現すると、発電コストは既存の発電所と比較してどうなるのか」、「プラズマを自動車の推進力として応用することはできないか」、「現在主に情報処理の勉強をしているが、核融合科学専攻で活かせるか」といった、研究内容に関するものから核融合科学専攻への進学に関するものまで幅広い質問が寄せられました。都城工業高等専門学校で大学院説明会を実施するのは今年で3年目となりますが、今回参加した本科4年生のうち1名は昨年も参加してくれたとのことで、継続的に興味を持ってくれた学生を丁寧にフォローして研究の道に迎えることの重要性を改めて感じました。

【核融合科学専攻・助教・大石鉄太郎】

● ベトナム宇宙科学技術国際会議への参加報告(2017年12月12日~15日)

2017年12月12日~15日の4日間にわたり、ベトナム国立ホーチミン市国際大学(HCMIU-VNU)を会場に宇宙科学技術国際会議 SST-2017 が開催され、総研大宇宙科学専攻教員6名(講師等)と、事務支援担当として大学院担当事務員2名が参加しました。

近年東南アジアでは宇宙への関心が高まりつつありますが、その活動範囲はGPSや準天頂衛星

などの測位衛星のデータ利用や超小型衛星の製作等に限られており、まだまだ最先端の宇宙科学研究・技術開発に関わることは東南アジアの若手には困難な状況にあります。そこで、まずは宇宙科学技術の魅力を伝え、宇宙科学の立ち上げを目指すことを主目的に、HCMIU – VNU と



(左) 講演中の國中副所長、
(右) 招宴の様子(主催者・組織委員会メンバー)

JAXA(ISAS)の共催で本国際会議を実施しました。総研大宇宙科学専攻としても、優秀な留学生の獲得と将来の共同研究拠点の形成等の観点から、積極的に参加し盛り上げることとしました。会議の参加者は約70名で、うち22名はベトナムの学部学生でした。日本からは、國中 ISAS 副所長、満田 ISAS プログラムディレクタ、稲富(前)宇宙科学専攻長等 JAXA の教員8名、中須賀教授(東大)、神武准教授(慶応大)等15名が参加しました。また台湾(高等研究院、NSO)、韓国(KASI など)の宇宙科学・宇宙応用関係者や、VNSC 所長も含むベトナムの宇宙関係者の参加がありました。

会議期間中 HCMIU と JAXA 及び総研大、さらにアジア諸国の宇宙機関とが具体的にどのように連携強化していくかの議論が活発に交わされました。既に JAXA との協力が進められている宇宙利用分野については、災害監視・大気汚染等の問題に共同で取り組むことになりました。さらに今回の国際会議を契機として、HCMIU 物理学科は ISAS(宇宙科学専攻)との連携により宇宙科学集中講義(アジア冬の学校)の企画やインターンシップへの応募を行うこと、JAXA が開催を主導する「アジア・太平洋地域宇宙機関会議」(APRSAF)の枠組みを通じて今後東南アジア全域における芽だしを行っていくことが合意されました。学生も含め若手からも積極的に質問や意見が出ました。終了後、学生の一人が駆け寄ってきて「Thank you very much, please come again.」とのことで、準備段階からの疲れが一気に吹き飛びました。



会場(ベトナム国立ホーチミン市国際大学)前での集合写真

また VNU(ベトナム国立大学)総長と VAST(ベトナム科学技術アカデミー)長官からの祝辞が会議中に届けられるなど、本国際会議はベトナム国内にも広く認知されており、宇宙科学技術分野に関する高等教育の現場として総研大宇宙科学専攻の紹介をベトナムの若手や教育関係者の前で行ったことは大きな意味があると思います。会議の実施に協力いただいた関係各位に厚く御礼申し上げます。

【宇宙科学専攻・副専攻長・松原英雄】

● 2017年度 学融合推進センター公募型研究事業・公開研究報告会

2018年2月8日(木)に、2017年度 学融合推進センター公募型研究事業・公開研究報告会が葉山キャンパス 学融合推進センター1階の福利厚生室にて開催されました。本報告会は、総研大での公募型研究課題を進めている研究者が一堂に会して研究成果を発表する、重要な機会です。学融合推進センターが今年度末で終了し、新たに教育開発センターとして発足



会場の様子

予定となっているため、今回は、過去 30 年の歴史を区切りとする報告会となります。参加者は、総研大教員 28 名、葉山 PD3 名、総研大学生 12 名、他機関研究者 1 名の延べ 44 名が参加しました。永田副学長から開会の挨拶があり、萌芽的共同研究 5 件及びセンター長裁量支援共同研究 1 件の成果報告が行われました。今回の研究課題は、採択されてから実際に研究を遂行できる期間が半年ほどであったにもかかわらず、全ての発表で進展がよくまとめられており、今後も何らかの形で共同研究を継続していくとの報告がありました。



研究報告会参加者の集合写真

トークの最後に「これまでの公募型共同研究課題の総括」の発表の時間をとり、研究事業担当として、総研大が創立当初から進めてきた異分野融合、学際的な共同研究についての様々な議論を次の 3 つの観点でまとめました。1)共同研究の発足に関して、2)研究費に関して、3)教育や評価に関して。これらは、過去数年間にわたって行われてきた総合討論や研究会での議論の中から、総研大の将来に役立つような意見や提言を抜粋しました。懇親会では、颯田センター長より

乾杯の挨拶があり、参加者それぞれが交流を深めました。その際、生命共生体進化学専攻の学生4名より、ポスターによる研究発表が行われました(昨年10月の生命科学リトリートに台風の影響で参加できなかった学生たちによるものです)。最後に、長谷川学長から今後も新しい形での研究の発展への激励と祈念を込めて会の締めくくりが行われました。学融合推進センター(CPIS)のホームページでも関連内容の詳細を紹介しておりますので、是非ご覧ください。

○CPIS ホームページ <http://cpis.soken.ac.jp/index.html>

2017年度 学融合推進センター公募型研究事業・公開研究報告会プログラム

○ 日時 平成30年2月8日(木) 13:40-19:00

○ 場所 総合研究大学院大学学融合推進センター棟1階 福利厚生室

タイムテーブル	演題等	研究課題代表者等発表者	採択事業区分	採択年度
13:10_13:40	参加者受付			
13:40_13:45	開会挨拶 永田 敬 (総合研究大学院大学 副学長)			
○セッション1 13:45_16:30 「萌芽的共同研究」 報告		進行: 田辺 秀之 (センター兼任教員, 先導科学研究科 准教授)		
13:45_14:15	1 太陽系見聞録の作成と発信—太陽系の起源と進化の統合的理解に向けて—	複合科学研究科 極域科学専攻	准教授 山口 亮	萌芽的共同研究
14:15_14:45	2 生物界を超えた遺伝子発現調節因子trans-kingdom interfering RNAの探索	生命科学研究科 基礎生物学専攻	教授 新美 輝幸	
14:45_15:15	3 抗体の糖鎖修飾をモデルとした糖転移酵素の細胞内局在の探査	物理科学研究科 機能分子科学専攻	教授 加藤 晃一	
15:15_15:30	休憩			
15:30_16:00	4 アゲハチョウの眼外紫外光受容タンパク質と生殖行動との連関	物理科学研究科 構造分子科学専攻	准教授 塚本 寿夫	萌芽的共同研究
16:00_16:30	5 生物の紫外線の利用と蛍光の生物学的意味を理解する~光情報解析と生物学解析の融合~	先導科学研究科 生命共生体進化学専攻	助教 寺井 洋平	
16:30_16:50	休憩 (集合写真)			
○セッション2 16:50_17:45 センター長裁量支援共同研究課題の報告・これまでの総括		進行: 小松 睦美 (学融合推進センター 助教)		
16:50_17:20	6 天変地異と人間社会の変遷: 言葉の在り方と世界の在り方	複合科学研究科 極域科学専攻	准教授 片岡 龍峰	センター長裁量支援
17:20_17:40	7 これまでの公募型共同研究課題の総括と最新の成果報告について	先導科学研究科 生命共生体進化学専攻	准教授 田辺 秀之	
17:40_17:45	閉会挨拶 長谷川 眞理子 (総合研究大学院大学 学長)			
17:45_19:00	懇親会・ESB学生ポスター発表 乾杯挨拶 嶋田 葉子 (学融合推進センター長)			

○ ESB 学生ポスター発表

発表者	発表タイトル
西條未来	チドリ目における対捕食者行動の決定要因: 種間比較による検討
南木悠	ヒメウラナミジヤノメの訪花特性
清古 貴	Aquatic adaptation of visual systems from land to the sea in the sea snake
濱崎 真夏	ヒトセントロメアの進化をさぐる

【先導科学研究科/学融合推進センター兼任・准教授 田辺秀之、学融合推進センター・助教 小松睦美】



プレスリリース情報

○ 『日本のたばこ政策と喫煙科学研究財団』 (平成30年2月5日)

【プレスリリース概要】

この研究では、日本たばこ産業株式会社(JT)が「喫煙科学研究財団」をなぜどのように設立したのか、またこの財団がどの程度日本のたばこ規制政策に影響を及ぼしたのかについて調べました。財団はJTが1986年に設立した機関で、現在に至るまで毎年、国内の研究者に研究費を助

成しています。財団に対しJTは多額の出資をしていますが、財団はJTとは独立の機関であるとされています。今回、私たちは、主に「Truth Tobacco Industry Documents」アーカイブ(The University of California, San Francisco)に保存されているたばこ業界の内部文書を分析しました。JTのたばこ規制対策は、特に1985年の民営化とともに強化されました。その対策手段の一つが、「第三者機関」としての財団の設立で、この設立準備のために、JTは海外のたばこメーカー幹部と協議を重ねています。財団は、科学界・医学界の権威を取り込むことに成功し、財団から助成を受けた研究者の一部は、国際学会に参加し、たばこ規制政策に関係する政府の諮問委員会に席を得て、また、たばこ関連訴訟で専門家として証言するなど、たばこの販売を継続するための環境づくりに貢献してきました。財団の設立経緯や機能は、たばこ業界から独立したものではないことが明らかです。また、財団設立は、たばこ規制に対抗する国際的な産業によるキャンペーン活動が日本に入ってきたタイミングであるとも言えるでしょう。本研究は、先導科学研究科の飯田香穂里准教授と米国スタンフォード大学のロバート・プロクター教授によって行われ、2月5日に、Tobacco Control(オンライン版)に掲載されます。

【詳細 URL】 <https://www.soken.ac.jp/news/41538/>

○『岐阜市長良で鉄隕石を発見「長良隕石」と命名』（平成30年3月1日）

【プレスリリース概要】

2012年10月ごろ、岐阜市内に住む三津村勝征氏(73)が、岐阜市長良宮口町で、褐色の鉄の塊を発見し、自宅に持ち帰りました。隕石ではないかと思い、2017年6月に知人で岐阜聖徳学園大学事務職員の岩佐大宣氏に相談し、同大学・教授・川上紳一研究室に持ち込みました。鉄隕石の可能性が高かったことから、東京大学・准教授・三河内岳、国立極地研究所・准教授・山口亮、首都大学東京・助教・白井直樹、総合研究大学院大学・助教・小松睦美に分析を依頼しました。分析の結果、鉄隕石であることを示すデータが得られたので、国際隕石学会の隕石命名委員会に隕石登録の申請を行い、「長良隕石(Nagara)」として承認されました。

【詳細 URL】 <http://www-test.soken.ac.jp/news/34511/>

○(再掲)『八つ当たりする魚の発見』（平成30年1月31日）

【メディア出演情報】本研究は、朝日新聞(1月31日)、東京新聞(2月3日)、テレビ神奈川など各種メディアで取り上げられました。

【参考動画】 <https://www.youtube.com/watch?v=8NeClvAZx6w>

【プレスリリース概要】

八つ当たりのように社会的に複雑な行動は、洗練された認知能力を持つ動物にのみ見られると考えられてきました。実際、これまでに八つ当たり行動の存在が科学的に立証されている種は、ヒト、ヒト以外の霊長類、その他の社会性食肉類に限られていました。

伊藤宗彦博士(研究当時、総合研究大学院大学・院生、現聖ヨゼフ学園小学校・理科専科)らによる本研究は、複雑な社会性を持つカワスズメの一種であるジュリドクロミス・レガニ

Julidochromis regani(以下、レガニと略記)が八つ当たり行動を行うことを世界で初めて示しました(図1)。さらに、八つ当たり行動には、自分の順位を守るという重要な社会的機能があることを示しました。従来、魚は単純な認知・行動パターンしか持たない生物であると考えられてきました。本研究は、この知見を覆すものであり、カワスズメが、日常的に、高度な社会的情報処理と意思決定を行っていることを示しています。

【著者】伊藤宗彦博士(総合研究大学院大学・先導科学研究科・修了生)・山口素臣(総合研究大学院大学・先導科学研究科・研究補助員)・沓掛展之(総合研究大学院大学・先導科学研究科・講師)

【詳細 URL】 <https://www.soken.ac.jp/news/41536/>

受賞情報

○(追加情報)先導科学研究科・生命共生体進化学専攻・仮屋園志帆

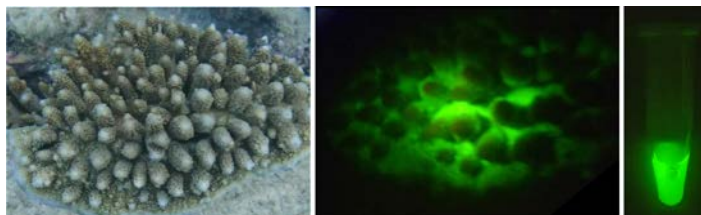
【受賞】第8回(平成29年度)日本学術振興会 育志賞

【受賞業績】「ミドリイシ属サンゴの蛍光タンパク質の遺伝子基盤と役割の解明」

【関連 URL】

<https://www.soken.ac.jp/news/n03/41797/>

【受賞コメント】育志賞をいただきまして、とても光栄に思います。このような賞を頂いたのは、これまで私を指導して下さった先生方、先導科学研究科の皆様のおかげです。私はサンゴ礁をつくるサンゴの、蛍光の遺伝子基盤について研究しています。育志賞に伴い頂いた研究を続ける機会を生かして、これからも研究に励みたいと思います。



研究対象のコクビミドリイシ(左)とその蛍光(中央)と、その蛍光タンパク質(右)

○機能分子科学専攻・助教・矢木真穂

【受賞】平成30年度日本薬学会奨励賞

【受賞業績】生命・錯体分子科学研究領域の矢木真穂助教が平成30年度日本薬学会奨励賞を受賞しました。受賞業績は「NMR分光法を基軸としたタンパク質の構造ダイナミクスと分子集合メカニズムの解明」です。この賞は薬学の基礎および応用に関し、独創的な研究業績をあげつつあり、薬学の将来を担うことが期待される研究者に授与される賞です。

【関連 URL】 https://www.ims.ac.jp/news/2018/02/15_3883.html

○機能分子科学専攻・助教・浜坂剛

【受賞】2017年度有機合成化学協会三菱ガス化学研究企画賞

【受賞業績】生命・錯体分子科学領域の浜坂剛助教が2017年度有機合成化学協会三菱ガス化学研究企画賞を受賞しました。受賞研究題目は「両親媒性遷移金属錯体の固相表面上への固定化に基づく高効率水中触媒反応システムの構築」です。この賞は“優れた研究の芽”に対してなされるのが特徴で、有機合成化学分野における萌芽的研究(研究企画)に対して、賛同企業の寄付をもとに助成金が贈呈されるものです。

【関連 URL】 https://www.ims.ac.jp/news/2018/02/23_3886.html

イベント情報

○宇宙科学専攻 海外学生インターンシップ 2017

【日時】2018年1月22日(月)～2月28日(水)

【概要】物理科学研究科宇宙科学専攻では、専攻への入学を志す海外学生のために、「宇宙科学専攻 海外学生インターンシップ 2017」を開催します。

インターン学生に採用されると、宇宙科学専攻(JAXA 宇宙科学研究所、神奈川県相模原市)に約1ヶ月間滞在し、入学後に配属を希望する研究室での研究活動を体験することができます。

【URL】 <http://www.isas.jaxa.jp/sokendai/admissions/guidance/intern.html>

○学融合セミナー「カラスとどう付き合うか?～対話、利用、個体数コントロール～」

【日時】2018年3月14日(水) 15時30分～17時00分

【講師】学融合推進センター 助教 塚原 直樹

【概要】生ごみを散らかす、糞を落とす、などの身近な生活被害から、農作物を荒らす、ウシを襲う、停電を起こす、など経済的被害まで、カラスの引き起こす問題は、多様であり、一部は

大変深刻です。これらの問題を解決するため、全国的にトラップによる捕獲が行われています。トラップによる捕獲は、2歳未満の非繁殖個体ばかりが捕まり、また、コストもかかることから、効果的な対策と言えないのでは、という意見もあります。では、どのような対策をすれば良いのでしょうか？講演者は、15年間のカラス研究の知見をもとに、カラスの生理・生態に基づいた短期的な対策と長期的な対策を提案しています。本セミナーでは、カラスの生物としての特徴とそれを活かしたカラス対策を紹介するとともに、ドローンなどを使ったカラスとの対話を目指した研究や有害鳥獣として捕獲されたカラスの食利用を目指した活動、行政や市民と一緒にいる個体数コントロールのための取り組みなどについてお話しします。

○基盤機関の行事等

3月

日時	時間帯	イベント名称・開催場所	参考 URL	実施基盤機関等
開催中- 3/13 (土)	10:00- 16:30	展示特設コーナー「かるた 百花繚乱！」 国文学研究資料館 展示室	http://www.nijl.ac.jp/pages/event/exhibition/2017/carta.html	国文学研究資料館
開催中- 4/8 (日)	9:30- 17:00	特集展示「和宮ゆかりの雛かざり」国立歴史民俗博物館	http://www.rekihaku.ac.jp/exhibitions/special/index.html	国立歴史民俗博物館
開催中- 5/26 (土)	10:00- 16:30	通常展示「和書のさまざま」 国文学研究資料館 展示室	http://www.nijl.ac.jp/pages/event/exhibition/2017/washosama201801-05.html	国文学研究資料館
6日(火)- 5/6(日)	9:30- 17:00	企画展示「世界の眼でみる古墳文化」国立歴史民俗博物館	http://www.rekihaku.ac.jp/exhibitions/project/index.html	国立歴史民俗博物館
8日(木)- 5/29 (火)	10:00- 17:00	開館 40 周年記念特別展「太陽の塔からみんなへ—70 年万博収集資料」 国立民族学博物館 特別展示館	http://www.minpaku.ac.jp/museum/exhibition/special/20180308taiyou/index	国立民族学博物館
9日(金)	16:30-	市民公開講座 第 116 回分子科学フォーラム・特別編	https://www.ims.ac.jp/research/seminar/2017/11/28_3842.html	分子科学研究所
9日(金)	13:15-	4D2U 定例公開「原始惑星の巨大衝突」 国立天文台三鷹キャンパス	https://prc.nao.ac.jp/4d2u/	国立天文台
9日(金)	18:30-	国立天文台三鷹 定例観望会 <観望天体：M35(ふたご座にある散開星団)> 国立天文台三鷹キャンパス	https://prc.nao.ac.jp/stargazing/	国立天文台
9日(土)	13:15-	4D2U 定例公開「原始惑星の巨大衝突」 国立天文台三鷹キャンパス	https://prc.nao.ac.jp/4d2u/	国立天文台
10日(火)	14:00- 16:00	第 320 回日文研フォーラム ハートピア京都 3 階大会議室	—	国際日本文化研究センター
8日(木)- 5/29 (火)	11:00- 11:30	【特別展関連】開館 40 周年記念特別展「太陽の塔からみんなへ—70 年万博収集資料」ギャラリートーク(毎週土曜日開催) 国立民族学博物館 特別展示館	http://www.minpaku.ac.jp/museum/exhibition/special/20180308taiyou/event	国立民族学博物館
10日(土)	13:30- 16:30	みんなく映画会 みんなくワールドシネマ 映像から考える<人類の未来> 「ディーパンの闘い」 国立民族学博物館 講堂	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/fs/movies1803	国立民族学博物館

11日(日)	12:50-16:10	第25回自然科学研究機構シンポジウム「プラズマが拓く無限の可能性～エネルギー、医療、産業、そして宇宙～」 名古屋大学理学南館1階 坂田・平田ホール	http://www.nins.jp/public_information/sympo25.php	自然科学研究機構
11日(日)	13:00-16:00	人間文化研究機構 北東アジア地域研究推進事業 国立民族学博物館拠点 国内シンポジウム「北の焼畑、南の焼畑—日本列島の文化を再考する」国立民族学博物館 第4セミナー室(本館2F)	—	国立民族学博物館
11日(日)	14:30-15:00	【特別展関連】みんなくウィークエンド・サロン—研究者と話そう 「特別展『太陽の塔からみんなくへ』—東南アジアを中心に」国立民族学博物館 特別展示館	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/salon/504	国立民族学博物館
13日(火)	14:00-16:00	第319回日文研フォーラム ハートピア京都3階大会議室	http://events.nichibun.ac.jp/ja/archives/cal/2018/03/13/index.html	国際日本文化研究センター
15日(木)	11:30-12:15	展示ギャラリートーク 国文学研究資料館 展示室	http://www.nijl.ac.jp/pages/event/exhibition/2017/washosama201801-05.html	国文学研究資料館
15日(木)-5/9(水)	10:00-16:30	展示特設コーナー「江戸の人々が見た禅」 国文学研究資料館 展示室	http://www.nijl.ac.jp/pages/event/exhibition/2017/washosama201801-05.html	国文学研究資料館
16日(金)	14:30-16:30	第66回日文研学術講演会「反転する井伊直弼—マッカーサーと大河ドラマのつながり」「パラオの女性首長がみた日本」	http://events.nichibun.ac.jp/ja/archives/kohenkai/s003/cal/2018/03/16/index.html	国際日本文化研究センター
17日(土)	10:00-15:00	歴博映像フォーラム12「モノ語る人びと—津波被災地・気仙沼から—」国立歴史民俗博物館	http://www.rekihaku.ac.jp/event/forum/index.html	国立歴史民俗博物館
17日(土)	13:15-	4D2U 定例公開「原始惑星の巨大衝突」 国立天文台三鷹キャンパス	https://prc.nao.ac.jp/4d2u/	国立天文台
17日(土)	13:30-15:00	【特別展関連】みんなくゼミナール 「万博資料収集団—太陽の塔に集った仮面、神像、なりわいの道具」国立民族学博物館 講堂	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/seminar/478	国立民族学博物館
18日(日)	14:30-15:00	みんなくウィークエンド・サロン—研究者と話そう「博物館資料情報の再収集—EEM北米資料とソースコミュニティとの『再会』」 国立民族学博物館 本館展示場(ナビひろば)	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/salon/505	国立民族学博物館
21日(水)	11:30-17:00	春分の日ガイドツアー 国立天文台 三鷹キャンパス	—	国立天文台
23日(金)	13:00-17:30	生命科学研究科 基礎生物学専攻 オープンキャンパス・大学院説明会 会場：基礎生物学研究所 明大寺地区	http://www.nibb.ac.jp/graduate/index.html	基礎生物学研究所
23日(金)	18:30-20:30	【特別展関連】みんなく公開講演会 「70年万博からみんなくへ」 オーバルホール(大阪 梅田)	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/alp/20180323	国立民族学博物館
24日(土)	18:30-	国立天文台三鷹 定例観望会 <観望天体：しし座γ星 アルギエバ> 国立天文台三鷹キャンパス	https://prc.nao.ac.jp/stargazing/	国立天文台
24(土)-25日(日)	10:00-17:00	太陽塔望遠鏡特別公開 国立天文台 三鷹キャンパス	—	国立天文台
24日(土)	13:30-15:30	くらしの植物苑観察会第228回「樹木ウォッチング」国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑	—	国立歴史民俗博物館

24日(土) -28日 (水)		世界天文コミュニケーション会議(CAP) 2018 in 福岡 福岡市科学館	http://prc.nao.ac.jp/fukyu/cap2018/	国立天文台
25日(日)	14:30- 15:00	みんなくウィークエンド・サロン—研究者と話そう「カーストの歴史的变化—あるバラモン集団の事例」国立民族学博物館 本館展示場(ナビひろば)	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/salon/506	国立民族学博物館
25日(日)		開館40周年記念シンポジウム 「民族誌コレクションの役割とその未来—人間の理解にむけた博物館の挑戦」 国立民族学博物館 講堂	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/rm/20180325	国立民族学博物館

4月

日時	時間帯	イベント名称・開催場所	参考 URL	実施基盤機関等
開催中- 5/6 (日)	9:30- 17:00	企画展示 「世界の眼でみる古墳文化」 国立歴史民俗博物館 企画展示室	http://www.rekihaku.ac.jp/exhibitions/project/index.html	国立歴史民俗博物館
開催中- 5/9(水)	10:00- 16:30	展示特設コーナー「江戸の人々が見た禅」 国文学研究資料館 展示室	http://www.nijl.ac.jp/pages/event/exhibition/2017/washosama201801-05.html	国文学研究資料館
開催中- 5/26(土)	10:00- 16:30	通常展示「和書のさまざま」 国文学研究資料館 展示室	http://www.nijl.ac.jp/pages/event/exhibition/2017/washosama201801-05.html	国文学研究資料館
開催中- 5/26 (土)	11:00- 11:30	【特別展関連】開館40周年記念特別展「太陽の塔からみんなくへ—70年万博収集資料」ギャラリートーク(毎週土曜日開催) 国立民族学博物館 特別展示館	http://www.minpaku.ac.jp/museum/exhibition/special/20180308/taiyou/event	国立民族学博物館
開催中- 5/29 (土)	10:00- 17:00	開館40周年記念特別展「太陽の塔からみんなくへ—70年万博収集資料」 国立民族学博物館 特別展示館	http://www.minpaku.ac.jp/museum/exhibition/special/20180308/taiyou/index	国立民族学博物館
1日(日)	14:30- 15:00	【特別展関連】みんなくウィークエンド・サロン—研究者と話そう 「『田の神(タノカンサア)』について」 国立民族学博物館 特別展示館	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/salon/507	国立民族学博物館
7日(土)	9:00- 16:00	「一般公開」国立遺伝学研究所	https://www.nig.ac.jp/koukai/koukai2018/	国立遺伝学研究所
7日(土)	13:30-	4D2U 定例公開「ダークマターハローの形成・進化」 国立天文台三鷹キャンパス 4D2U ドームシアター	https://prc.nao.ac.jp/4d2u/	国立天文台
8日(日)	14:30- 15:00	【特別展関連】みんなくウィークエンド・サロン—研究者と話そう 「東アフリカ民族資料収集の舞台裏」 国立民族学博物館 特別展示館	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/salon/508	国立民族学博物館
10日 (日)- 5/6(日)	09:30- 17:00	くらしの植物苑特別企画 伝統の桜草 国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑	http://www.rekihaku.ac.jp/exhibitions/plant/project/index.html	国立歴史民俗博物館

13日(金)	13:30-	4D2U 定例公開「ダークマターハローの形成・進化」 国立天文台三鷹キャンパス 4D2U ドームシアター	https://prc.nao.ac.jp/4d2u/	国立天文台
13日(金)	19:30-	国立天文台三鷹 定例観望会 <観望天体:しし座γ星> 国立天文台三鷹キャンパス	https://prc.nao.ac.jp/stargazing/	国立天文台
14日(土)	13:30-	4D2U 定例公開「ダークマターハローの形成・進化」 国立天文台三鷹キャンパス 4D2U ドームシアター	https://prc.nao.ac.jp/4d2u/	国立天文台
14日(土)	13:00-15:00	第407回歴博講演会「世界の王墓、日本の古墳」 国立歴史民俗博物館 講堂	—	国立歴史民俗博物館
15日(日)	14:30-15:00	【特別展関連】みんぱくウィークエンド・サロン—研究者と話そう 「収集団の見た独立期のオセアニア」 国立民族学博物館 特別展示館	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/salon/509	国立民族学博物館
17日(火)-5/20(日)	9:30-17:00	特集展示「錦絵 in1868」 国立歴史民俗博物館 第3展示室	—	国立歴史民俗博物館
19日(木)	11:30-12:15	展示ギャラリートーク 国文学研究資料館 展示室	http://www.nijl.ac.jp/pages/event/exhibition/2017/washosama201801-05.html	国文学研究資料館
21日(土)	13:30-	4D2U 定例公開「ダークマターハローの形成・進化」 国立天文台三鷹キャンパス 4D2U ドームシアター	https://prc.nao.ac.jp/4d2u/	国立天文台
21日(土)	13:30-15:00	【特別展関連】みんぱくゼミナール 「EEMという『運動』」 国立民族学博物館 講堂	—	国立民族学博物館
22日(日)	14:30-15:00	【特別展関連】みんぱくウィークエンド・サロン—研究者と話そう 「インド・中近東収集から時代を読む」 国立民族学博物館 特別展示館	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/salon/510	国立民族学博物館
24日(火)-10/28(日)	9:30-17:00	特集展示「お化け暦と略縁起—くらしのなかの文字文化—」 国立歴史民俗博物館 第4展示室	—	国立歴史民俗博物館
28日(土)	19:30-	国立天文台三鷹 定例観望会 <観望天体:月> 国立天文台三鷹キャンパス	https://prc.nao.ac.jp/stargazing/	国立天文台
28日(土)	9:30-17:00	第229回くらしの植物苑観察会「サクラソウの色素とその遺伝子」 国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑	—	国立歴史民俗博物館
29日(日)	14:30-15:00	【特別展関連】みんぱくウィークエンド・サロン—研究者と話そう 「1960年代末のメキシコとコロンビア—EEM中南米の旅」 国立民族学博物館 本館展示場(ナビひろば)	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/salon/511	国立民族学博物館

【広報社会連携室から】

○総研大創立30周年記念寄附金事業について

総研大は平成30年10月に創立30周年を迎えます。これに合わせ、記念寄附金事業を行いますので、みなさまのご協力をお願いいたします。ご寄附をご検討の方は、以下のURLをご参照いただくか、広報社会連携室までご連絡ください。

寄附金事業の目的：教育の国際化を充実させるために必要な学生支援事業の実施

募集期間：平成30年1月～平成31年3月末日



寄附方法：本学 HP <https://www.soken.ac.jp/disclosure/pr/donation> をご参照ください。
 または、広報社会連携室までお問い合わせください。

○新規ページの開設について～総研大ホームページにて各種情報発信中です。

『総研大ピープル』 <https://www.soken.ac.jp/outline/people/>

『卒業生の就職先・受験生へのメッセージページ』

https://www.soken.ac.jp/admission/student_activity/activity/

『総研大公式 Facebook ページ』 <https://www.facebook.com/SOKENDAI/>

総研大公式 Facebook	12 月末	2018 年 1 月末	2 月末
フォロワー数カウンター	70 人	86 人(先月+16 人)	97 人(先月+11 人)

・いよいよフォロワー数 100 人が見えてきました。

・「#SOKENDAI」もはじめました。さりげない総研大情報もぜひ「#SOKENDAI」で発信お願いします！

○広報特派員の募集について

広報社会連携室では、広報特派員を募集しております。総研大の広報活動にご協力いただける学生の方はぜひ応募してください。詳細は、下記 URL をご参照ください。

<http://www.soken.ac.jp/disclosure/pr/information/corres>

編集後記



①テジョン駅広告に SOKENDAI の文字 (写真：核融合科学専攻 長壁教授提供)

①本学と交流協定を締結している韓国 UST の広告(テジョン駅)の写真を提供していただきました。『SOKENDAI』が載っています。

②まだ寒い 2 月 20 日、葉山キャンパスの中庭に春の花が咲きました。池の周りは少し空気が暖かいようです。(広報社会連携室 SS)



②今春最初の材刈ワグリ

広報社会連携室では、メディアを通じて総研大の研究成果を広く社会に発信しています。特に、総研大在学生在が筆頭著者として研究論文を出版する際、プレスリリースを行う場合は、総研大と所属専攻(基盤機関)との共同プレスリリースを行っておりますので、是非総研大広報社会連携室までご連絡ください。

各専攻の学生・担当教員の「メディア出演」、「受賞・表彰」および「地域社会と連携・密着したアウトリーチ活動等の社会連携・貢献活動」についてニューズレター、ウェブ掲載等により発信しておりますので、各種情報を是非お寄せください。

研究論文を投稿する場合や、メディア等に出演される場合は、「総合研究大学院大学」と表記いただきますよう、総研大の知名度向上にご協力をお願いいたします。

発行 2018 年 3 月

編集

国立大学法人
総合研究大学院大学
 SOKENDAI (THE GRADUATE UNIVERSITY FOR ADVANCED STUDIES)

神奈川県三浦郡葉山町(湘南国際村)

広報社会連携室

TEL 046-858-1590 / FAX 046-858-1632

Email kouhou1(at)ml.soken.ac.jp

※(at)は@に変換してください。

©2018SOKENDAI

p. 12